

2021年12月2日

長野市議会議長 寺 沢 さゆり 様

ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し  
民主的な政治体制の早期回復を求める請願

請願者 ミャンマー民主化を支援する信州の会  
長野県長野市県町532-3  
電話

代表 若麻 績 敏 隆

紹介議員

布目 裕 幸 雄 小泉 義 正  
松本 茂 盛 西 沢 利 一  
小泉 一 真 手 塚 香 樹  
小林 史 子 高 野 孝 二  
竹内 英

【請願趣旨】

本年2月1日、ミャンマー国内において発生したミャンマー国軍によるクーデターは、同国民の歩んできた民主化への努力と期待を踏みにじる暴挙でした。私たちは、国軍が、無辜の国民に容赦なく銃口を向けるといふ、あつてはならない事態に戦慄し、その銃弾に斃れ無念の死を遂げた1000人を超える犠牲者に対して深く哀悼の意を表します。

クーデターの発生から10カ月が過ぎ、残念ながら、国軍の暴力をとどめる有効な手だてを見出せないままである日本を含む国際社会に対して、ミャンマー国民は、忘れられ、見捨てられたのではないかとの焦燥感と絶望感に苛まれ、やむを得ず自ら銃をとって国軍との徹底抗戦を選択する者もあらわれています。

ミャンマー国軍の暴力は、長野県内に暮らしている約200人のミャンマーの人々をも恐怖と不安に陥れています。

わが国は、ミャンマーにとって最大の援助国であり、現時点で政府開発援助の有償資金協力では、累計で9685億円の円借款を契約しています。長野県も本年6月29日に国際協力機構債権を7億円で購入しています。国軍が実効支配を強めるなかで円借款による大規模インフラ事業を進めると、ミャンマー国軍に利益をもたらすことにつながりかねず、その一端を長野県民も関与することになります。

現在、衆議院、参議院をはじめ国内の地方議会でミャンマーにおける軍事クーデターを非難し、民主的な政治体制の早期回復を求める意見書が決議されており、県民もまた大きな関心をもって行方を見守っています。ミャンマーが民主国家へのプロセスを決して逆戻りすることがないように、貴議会におかれましても、日本政府に、より積極的で有効な行動の敢行を提言いただきますよう、お願い申し上げます。

【請願事項】

貴議会において、請願趣旨に基づき、以下の事項について国宛の意見書を提出してください。

- 1 ミャンマーにおける軍事クーデターを強く非難し、自らの自由と人権、民主主義を取り戻すために声を上げ行動を続けているミャンマー国民と共にあることを表明すること。
- 2 ミャンマー国軍指導部に対し、民間人への残虐行為の即時停止、アウン・サン・スー・チー国家最高顧問を始めとする不当に拘束された国内外の人々の即時解放、人権及び人間の安全保障の尊重、民主的な政治体制の早期回復を強く求めること。
- 3 国際社会とも連携し、あらゆる外交資源を駆使して、これらの事項の速やかな実現に全力を尽くすとともに、被害を受けた少数民族や避難民に対する緊急支援の提供、ミャンマー国軍に対する武器輸出禁止に向けて取り組むこと。